



10月19日 - 20日 (Rd.11-12) 天候: 雨
コース: オートポリス

2024 FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP Rd,11-Rd,12 OTG Motorsports REPORT

2024年シーズンの「FIA F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP (FIA F4選手権)」は、今季も年間7大会14戦で競われていて、全戦がSUPER GTのサポートレースとして実施されている。10年目となる今シーズンは大きな変更があり、まずひとつが2015年から昨年までの使用していたF110と呼ばれるシャシーから、より安全性を高めた「MCS4-24」が採用されたこと。また、チャンピオンクラスとインディペンデントクラスの2クラス制に移行し、それぞれが独立したクラスとして競われていることになる。

FIA F4選手権には独自のスカラシップ制度となる「FIA-F4 JAPANESE CHALLENGE DRIVER」があり、大阪トヨペットグループはダンロップタイヤと共同で制度の創設時より支援を続けている。同スカラシップを獲得したドライバーは、OTG MOTORSPORTSからシーズンを通して参戦することができ、今季のチャレンジドライバーには熊谷憲太選手が選出されている。

熊谷選手は全日本カートなどで実績を残しステップアップしてきていて、FIA F4選手権が初のフォーミュラレースとなる。そのため国際サーキットの走行経験が少なく、開幕戦こそポイントを獲得したが2大会目以降は苦戦する様子が見受けられた。

迎えた第11戦、第12戦は大阪府のオートポリスが舞台。チームは走行経験が少ない熊谷選手のために6月に同サーキットでテストを実施していて、8月に開催された富士スピードウェイ大会以来の入賞を目指した。

●予選 10月19日(土)8時10分～8時30分(チャンピオンクラス)

天候不良のためキャンセル

今季のFIA F4選手権はクラス別となったため、予選もチャンピオンクラスとインディペンデントクラスが別々に実施されている。

予選と第11戦が開催される予定となっていた19日(土)は、寒冷前線の南下にともないオートポリスのある九州では荒天となり、朝から雨と濃霧に包まれた。そのため、チャンピオンクラスの予選が開始される8時10分前にスタートが遅れることが案内される。その後も天候の回復を見込んでディレイとなったが、最終的には天候不良のためにキャンセルとなった。

●第11戦 10月19日(土)13時45分スタート

天候不良のためキャンセル

予選がキャンセルとなったため、第11戦のスターティンググリッドは、18日(金)に実施された練習走行「OTG FIA F4トレーニング」の結果によって並ぶこととなった。

天候不良のためにキャンセルとなった予選の後には霧が薄くなり、雨量が少なくなるタイミングもあった。そのため、第11戦の決勝レースは予定通りの13時45分にスタートする準備が進められた。ただ、13時を過ぎるとコースには雷雲が押し寄せ、雨は午前中より酷く降ってしまう。雨雲と雷雲が過ぎ去るのを待ったが、コースコンディションが悪化していたことも影響し、14時05分に第11戦決勝レースの中止が決定した。

●第12戦 10月20日(日) 9時30分スタート

スタート17位 フィニッシュ15位

第19日(土)に予定されていた予選と第11戦の決勝レースは、天候不良によってともに中止となった。20日(日)は雨こそ止んでいたものの、早朝からコースは霧に覆われていた。それでもFIA F4選手権の前に予定されていたSUPER GTの予選は、スケジュール通りに始まった。セッションの途中で中断があったため、第12戦の決勝レースは予定より5分遅れの9時30分にスタート。

スターティンググリッドは第11戦と同様にOTG FIA F4トレーニングの結果が採用され、熊谷選手は17番手グリッドに並んだ。13周で競われた決勝レースは、セーフティカーの先導によって幕が切られた。3周が終了した時点でセーフティカーがピットロードに戻ると、本格的なバトルが始まる。熊谷選手は1コーナーで16番手に浮上すると、6周目にも1つポジションを上げて15番手となる。中盤を過ぎると周回ごと自己ベストタイムを更新するが、パッシングポイントが少ないオートポリスなので先行車に迫るものの抜ききれない。最後までテールトゥノーズで14番手のマシンを追ったが、13周目に15位でチェッカーを受けた。





熊谷 憲太 選手

木曜日の17日と金曜日の18日に行なわれた練習走行はともにドライで走れたのですが、トップクラスのマシンから2秒ほど離されていて厳しい状況でした。前回のスポーツランドSUGO大会で自分の走り方を改めて考え直して、その改善点を意識しながら周回を重ねていきました。それでもマシンの限界値を引き出せていないところが多く、車両のコントロールが上手くできていませんでした。オートポリスは夏前にテストで走らせてもらい、そのときはレインが多かったので、雨でも対応できる準備はできていました。予選と第11戦のキャンセルは残念ですが、あのような状況だと仕方ないと思います。第12戦は後方からのスタートとなりセーフティー明けに1台をパスしたのですが、前のマシンに近づくとダウンフォースが抜けてしまい抜くのが難しかったです。ポイントが獲れないレースが続き厳しい状況なので、次戦までは時間がないですが準備を進めていきます。